

7月号

令和3年7月1日発行

校長 今泉 達也

学校教育目標



みんなきらきら上尾小  
～笑顔いっぱい 元気いっぱい～

心を大切にする児童の育成  
(知) ねばり強く学ぶ子  
(徳) 思いやりのある子  
(体) 明るく元気な子

上尾小学校の教職員は、一人一人の児童にきめ細やかな指導を行っています

校長 今泉 達也

1学期の課業日も残り3週間となりました。保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対しご理解、ご協力を賜わり感謝を申し上げます。

さて、6月下旬、授業公開を実施しましたところ、ご多用にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご参観いただきました。重ねて感謝を申し上げます。教師にとって授業は本分であることから、その充実に努めることは当たり前ですが、私は、「経営方針の土台」の1つを敢えて「授業の充実」としています。学校生活のおよそ60%が授業の時間であり、「その充実なくして、児童の成長はない」からです。従って上尾小学校の教職員は、校長の方針を受け、毎日1時間、1時間の授業の中で、目の前にいる一人一人の児童に声をかけ、寄り添い、きめ細やかな指導を行っています。

しかし、その方針をさらに浸透させるために、先日、私のちょっとした日常体験から次のような指示・伝達・指導を行いました。

近所のドラッグストアに、めったに買わない飲み薬を買いに行った。置いてありそうな棚を一通り見たが、その店では初めて購入する商品でもあり、類似品がたくさんあって見つからない。時間がもったいないし、他のお客さんも少なかったことから、店員さんに「Aという薬はどこに置いてありますか」と尋ねた。すると、「左に行った、その奥のコーナーにあります」と教えてくれた。漠然としていたので、つい、「いやいや、探したけど分からないので、わざわざ聞いているのです。不親切ですね」と言ってしまった。言ってしまったからすぐに反省した。「不親切ですね」は余計であった。また、「探したけど分からないので」の一言を付け加えるべきであったと。

加えて同時に思った。私たち「学校の先生」も、子供たちへの指導や働きかけ、声かけで、似たいようなことをしていないだろうか。授業中、問題が解けない、答えが分からない。だからか、じっとしている子供がいる。そのような子供たちに対して、「前の学年でやったでしょ」、「もっとじっくり考えなさい」、「集中力が大切ですよ」、「気合いです」などと、抽象的で「不親切」な指導をしていないだろうか。上尾小の子供たちは、先生が「やりましょう」と言うと、その指示・助言にしたがって、「うーん、うーん」、「集中力だ」、「気合いだ」といって考える。「いつ習ったんだっけ、いつだっけ」といって思い出そうとする。でも、そんな言葉がけで答えが出るはずはない。もっと具体的に支援すべきだ。次の日、保護者から、「子どもが分からないと言っているのに、先生は教えてくれない。良いも悪いも言ってくれない。知らん振り。それって不親切ではありませんか？」と、連絡帳で問い合わせをいただくかもしれない。でも、それは当然である。

残り1ヶ月。一学期の「まとめ」をする時期となるが、日々、毎時間、一人一人の児童に声をかけて、寄り添った、きめ細やかな指導を行うこと。

上尾小学校の教職員は、引き続き一人一人の児童に寄り添う、きめ細やかな指導を行ってまいります。今後とも本校の教育活動にご理解、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

なお、計画的な授業公開だけではなく、本校では常時、授業をご参観いただくことが可能です。ご来校の際には事務室で手続きをお取りください。また、担任の授業に対してご意見、ご感想、ご質問等がありましたらご一報ください。